

新教育プログラムが始動！

深化し続ける外国語学部の学び、次世代のグローバル人材へ

 多言語社会

 地域のグローバルな課題への挑戦

 グローバルな多文化共生

外国語学部は新時代に突入。全学科・専攻の学生が、専攻言語の枠を超えて知の機会を増やし、自由に専門性を磨くための支えを強化します。多様化する国際社会において、言語運用能力だけでなく、複眼的な視野を持った実践的な人材を育成します。

学部共通専門科目の設置

学科の枠を超えて知の機会を増やします！

言語研究、歴史・文化論、多言語・多文化社会、国際社会、市民社会・地域社会、アジア・新興国など、幅広い領域をカバーする専門科目を60科目以上設置。所属学科にとらわれず、興味のある分野を深く学べます。

学部共通英語科目の導入

専攻言語力+英語力アップの両方を目指そう！

全学科・専攻の学生が選択できる専門教育の英語科目を導入しました。アカデミックな英語に重点を置き、国際的な場面で通用する高度な英語運用能力と、英語で専門分野を学ぶ力を養います。

3・4年次の「多言語社会課程」

学部が一体となって尖った人材を育てます

専攻言語の枠を超えて世界の多様な言語・文化に対する理解を深める、3・4年次対象の専門コースです。理論的な学びに加え、フィールドワークなどの実践を通じて、多言語社会の課題解決に取り組む力を育成します。

ポルトガル語の専攻言語化

東海地方で県大のみ！

スペイン語・ポルトガル語圏専攻では、ポルトガル語を専攻言語として選択可能になりました。ブラジルをはじめとするポルトガル語圏の言語・文化・社会を専門的に学び、地域と世界をつなぐ架け橋となる人材を目指します。

注目の科目・プログラム

学部共通専門科目

担当：佐野直子
(ヨーロッパ学科フランス語圏専攻)

社会言語学入門

テーマ：人々が多様なことばを使っている事実をどのように考えるのか

「誰が、いつ、どこで、誰と、どんなことばを使っているのか」を探究します。言語と社会の関わりを学び、多言語社会を理解するための基礎的な視点を養います。

多言語社会課程科目

担当：コミュニティ通訳学
アジア・新興国研究等の専門教員

多言語社会共通演習・フィールド実習

テーマ：多様性、協働、実践、発信

教室での学びを社会で実践するワークショップ・実習型科目です。NGOとの協働プロジェクトや、映像・メディアを用いた発信活動に挑戦し、社会課題に対する当事者意識を醸成します。

専攻ポルトガル語

担当：ヨーロッパ学科スペイン語・ポルトガル語圏専攻

ポルトガル語実践

テーマ：ポルトガル語を使ってキャンパスの外と繋がる

リサーチ・発信プロジェクトを通じて、教室で学んだポルトガル語を実際のコミュニケーションで活用します。調査、考察、そして発信までをポルトガル語で行う、アクティブな科目です。

学部共通英語

担当：英語教育・応用言語学等の
専門教員

Advanced Seminars in English

テーマ：英語が共通語。学科の垣根を超えて多文化を捉えよう！

全学科・専攻の学生が共に学ぶセミナー形式の授業です。英語を共通語として多文化理解を深め、異なる専門背景を持つ学生同士の議論を通じて視野を広げます。